近江和順会 労働組合ニュース No.96

2025 年 12 月 8 日発行　発行責任者：執行委員長　藤野 具

組合の交渉によって 10000 円増額しました！（非常勤職員は 1500 円増額）

2025 年度の冬季賞与は、法人からすでにお知らせがある通りです。（右を参照→）

しかし、当初からこの額だったわけではなく、当初の法人回答は正規の介護職員は1.6か月＋40000円、多様正規職員は正規の 75%＋10000 円、フルタイム非常勤職員は 40000 円というものでした。

●正規職員　1.6 ヶ月+50.000 円（介護職員）
1.6 か月+40.000 円（介護職員以外）
●多様正規職員　正規職員の 75%
（1カ月を下回る場合は1カ月）＋20.000 円
●非常勤職員　41.500 円（フルタイムの場合。算定期間の出勤実績期間数により算出）

組合アンケートをもとに増額を要求して交渉。

団体交渉において、私たち組合側参加者は「これでは受け入れられない」と一時金の増額を強く求めて交渉してきました。 交渉に先立って集めたアンケートの結果を法人側に伝え 「アンケートでも物価高で生活が苦しいという声がたくさんあがっている。 職員みんなに対して、昨年並みの額に近づけるように考えて欲しい。」「病院に行くのも考えてしまうという人もいる。働くものの立場からすると、普通に健康的な生活をおくれてはじめて仕事ができる。 一時金はある程度の額は欲しい」「人の命を預かる仕事をしているにもかかわらず年収が低いことに職員は不満を感じている。今の状況だと、他の業種や職場に職員が流れていっても不思議ではない。」 と、みんなで協力して意見を述べ、再検討を訴えてきました。そして、11 月 14 日に法人から正規職員は＋10000 円、非常勤職員は＋1500 円の回答を受け取ることが出来たのです。

さらなる待遇改善をめざして、がんばりましょう！

昨年には及ばないものの、増額を実現することができたのは、労働組合の交渉の成果です。
アンケートや団体交渉に参加して冬季交渉に協力して下さった組合員のみなさん、ありがとうございました。

ここ数年の物価高により、 実質賃金の低下は著しく、 私たちの生活が苦しいという声があがるのは当然です。 労働組合による賃上げ交渉－私たちがまず自分の職場において、 共に働く仲間と共に声を上げることはますます重要になっています。

政治が大きく動いている中で、世の中の動きにも注目する必要もあります。私たちの生活改善のためには多くの課題がありますが、 今回の成果を1つのステップとして、さらなる待遇改善をめざして、これからも一致団結してがんばりましょう！

★親睦会を開催しました！

今年も親睦会を実施し、たくさんの方に参加していただき「料理も美味しく、とても楽しかった」「普段あまり接点のない組合員の方とも話せた」などの声を聞くことが出来ました。今回も選択制で、毎年好評の焼肉、居酒屋に加え、鍋料理の「赤から」を選択肢に加えました。ただ、 後日のアンケートでは「選択肢や日程をもっと増やしてほしい」や「カフェでのランチがあれば行きたかった」等の意見がありましたので参考にし、来年もまた開催したいと思いますので今回は参加できなかった方も次回の参加お待ちしております。

☆加入が未だの方へ 組合への加入をお願いします☆

～ より良い働き方のためにあなたの協力が必要です ～

・そもそも組合って何？ … この職場で安心して働けるように、職場環境や労働条件、処遇改善などを法人と話し合うほか、ボーナス(一時金)についての交渉をおこなうための職員の集まりです。その中から毎年の選挙にて活動のリーダーとなる執行委員を選出します。

・どんな活動をしているの？… 執行委員が中心となって、定期的に会議を開き、職員アンケートの結果などをもとに各施設での職員の労働状況や、困り事がないかを話し合ったり、次の交渉の対策をたてたりしています。 ※もし興味があれば見学も可能です。気になる事があれば気楽に執行委員まで声をおかけください！

★活動のお知らせ・ニュースなど ↓組合のHPはこちら↓

http://www.ohmiwajunkai.or.jp/labor-union/

近江和順会 労働組合 ＜執行委員＞ 美松苑：深山 ・ 竹内 ・ 前田 ・ 森田 ・ 今井
ヴィラ十二坊：蕨野 ・ 山田 レーベンはとがひら：志賀 ・ 奥田 ・ 生賀 ・ 松田